

三菱UFJフィナンシャル・グループ 株主の皆さまへ

第5期第1四半期(平成21年4月1日~平成21年6月30日)



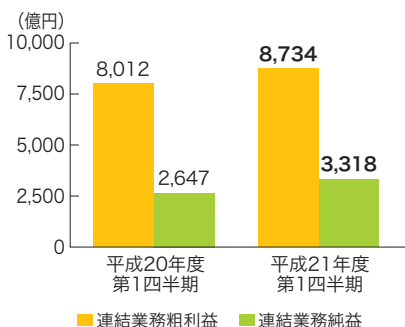
Quality for You 

MUFG

決算のポイント

- 連結第1四半期純利益(平成21年4月～6月)は、資金利益を中心とする業務粗利益の増加や株式等関係損益の改善などから、前年同期比247億円増益の759億円
- 貸出金は、国内法人貸出の減少により、平成21年3月末比1.0兆円減少。一方、預金は、個人預金、海外店預金の増加により同比2.0兆円増加
- 連結自己資本比率は、平成21年3月末比1.19ポイント上昇の12.96%

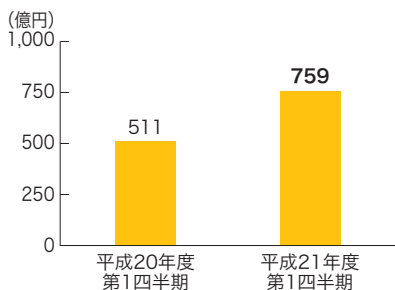
連結業務粗利益・連結業務純益



■ 損益の状況

連結業務粗利益は、海外貸出収益の増加や外貨調達コストの減少、アコム連結化による資金利益の増加を主因として、前年同期比721億円増加の8,734億円となりました。営業費は前年同期比50億円の増加となりましたが、経費削減の進捗および統合効果もあり、アコム連結化要因を除けば減少となりました。この結果、連結業務純益は前年同期比671億円増益の3,318億円となりました。

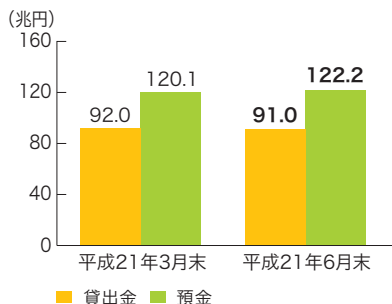
連結四半期純利益



与信関係費用総額は、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行の単体合算では減少しましたが、その他の連結子会社で増加したほかアコム連結化要因もあり、前年同期比481億円増加の1,898億円となりました。一方、株式等関係損益は、株式等償却の減少、売却益の増加により前年同期比403億円改善し302億円の利益計上となりました。以上の結果、連結四半期純利益は、前年同期比247億円増益の759億円となりました。

(注)業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

貸出金・預金

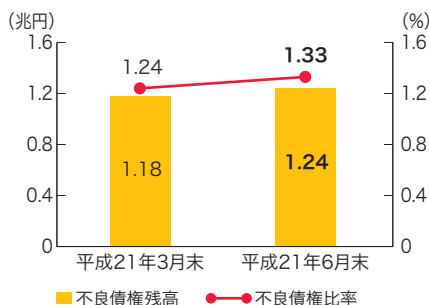


貸出金・預金の状況

貸出金は、国内法人貸出の減少を主因に平成21年3月末比1.0兆円減少し、91.0兆円となりました。

預金は、個人預金のほか、海外店預金等の増加を主因に平成21年3月末比2.0兆円増加し、122.2兆円となりました。

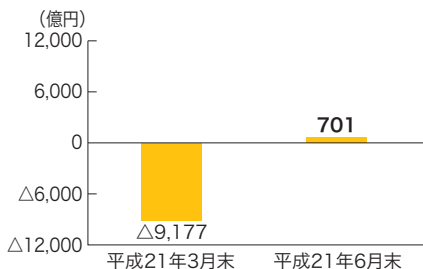
不良債権残高・比率



不良債権残高・比率の状況

不良債権残高(三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の単体合算)は、平成21年3月末比0.05兆円増加の1.24兆円となりました。不良債権比率は、同比0.08ポイント上昇の1.33%となりましたが、引き続き低水準を維持しています。

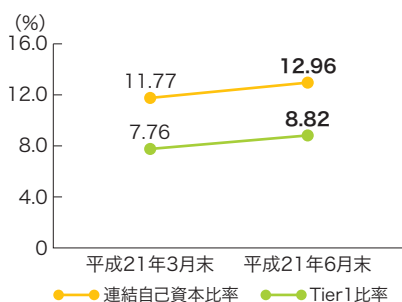
有価証券の含み損益



有価証券含み損益の状況

株式相場の上昇による国内株式の評価損益改善を主因に、有価証券の含み損益(その他有価証券評価差額)は、平成21年3月末比9,879億円増加し、701億円の含み益となりました。

連結自己資本比率



■ 連結自己資本比率の状況

連結自己資本比率は、平成21年3月末比1.19ポイント上昇し12.96%となりました。Tier1比率は1.05ポイント上昇し8.82%となりました。

平成21年度第1四半期決算に関するQ&A

Q 経費(営業費)削減の状況に関して教えてください。

A 連結営業費は、アコムの新規連結要因等により、前年同期比50億円増加の5,415億円となりましたが、三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行単体合算の経費は、前年同期比274億円の減少となりました。これは、新システムへの移行完了による統合効果に加え、全社的に経費削減を推し進め、人件費・物件費とも削減した結果です。
徹底した経営効率化に向け、引き続き経費削減に取り組んでいきます。

Q 米国低所得者向け不動産貸出(サブプライムローン)関連商品をはじめとする証券化商品等への投資状況を教えてください。

A 平成21年6月末の証券化商品等への投資残高は、売却・償還などにより、平成21年3月末比0.11兆円減少の2.19兆円となりました。
評価損は2,910億円となり、平成21年3月末比930億円改善しました。また、平成21年度第1四半期の損益への影響額は、売却損による60億円の損失にとどまりました。

損益の状況(連結)

(単位：億円)

	平成20年度第1四半期 (平成20年4月～6月)	平成21年度第1四半期 (平成21年4月～6月)
連結業務粗利益(信託勘定償却前)	8,012	8,734
うち資金利益	4,700	5,552
うち役務取引等利益	2,392	2,333
営業費	5,365	5,415
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	2,647	3,318
臨時損益(△は費用)	△ 1,661	△ 1,689
うち与信関係費用	△ 1,414	△ 1,632
うち株式等関係損益	△ 101	302
経常利益	968	1,363
特別損益	95	29
法人税等+法人税等調整額	288	465
少数株主利益	263	167
連結四半期純利益	511	759
与信関係費用総額(△は費用) (与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額 +与信関係費用(臨時損益内)+偶発損失引当金戻入益(与信関連))	△ 1,417	△ 1,898

資産・負債の状況(連結)

(単位：億円)

	平成21年3月末	平成21年6月末
資産の部	1,987,339	1,992,945
うち貸出金	920,568	910,449
うち有価証券	483,141	531,571
負債の部	1,901,632	1,899,111
うち預金	1,201,495	1,222,328
純資産の部	85,706	93,833

連結自己資本比率の状況(第一基準)

(単位：億円)

	平成21年3月末	平成21年6月末
自己資本比率	11.77%	12.96%
Tier1 比率	7.76%	8.82%
自己資本	114,784	124,354
Tier1	75,751	84,671
総所要自己資本額	77,994	76,732

モルガン・スタンレーとの戦略的提携第二弾

平成21年6月、MUFGとモルガン・スタンレーは、本年3月の日本における証券会社の統合に関する覚書の締結に続き、海外を中心とした戦略的提携の強化施策につき合意しました。

両社は、共同出資により米国に設立した共同マーケティング会社を通じて、米国、カナダおよび中南米のお客さまに両社の企業金融業務や証券引受業務等における高い専門性を活かした最高水準のサービスを提供します。またアジアならびに欧州、中東およびアフリカにおいても企業金融の分野において相互にお客さまを紹介する協働の枠組みを構築します。

さらに、コモディティ関連取引(商品取引)の分野において、三菱東京UFJ銀行の海外のお客さまにモルガン・スタンレーの競争力のある商品・サービスを紹介するほか、人材交流も進めます。

今後も両社の強みを発揮し、国内外のお客さまのニーズにお応えしていきます。



三菱UFJフィナンシャル・グループ 群柳社長と
モルガン・スタンレー ジョン・マック最高経営責任者(CEO)

環境配慮型住宅ローン「エコサポート特典」の取り扱い開始

三菱東京UFJ銀行は、平成21年6月に、環境配慮型住宅に対する住宅ローンの金利優遇サービス「エコサポート特典」の取り扱いを開始しました。

「エコサポート特典」とは、オール電化と太陽光発電システムの両方を設置した提携住宅メーカーの新築住宅を購入するお客さまを対象に、住宅ローン金利を優遇する(0.1%)サービスです。公的補助金や住宅メーカーの割引サービスとともに、お客さまの太陽光発電システムの設置費用負担を軽減し、環境配慮型住宅の普及をサポートします。

三菱東京UFJ銀行では、今後もお客さまの資金ニーズに幅広くお応えできる商品・サービスの拡充に取り組んでいきます。



ユニオンバンク、新ロゴでの営業をスタート



平成21年7月、MUFGの子会社で米国商業銀行であるユニオンバンク(以下UB)が、新しいロゴでの営業を開始しました。

UBは、米国カリフォルニア州を中心に約330の支店を構え、日系企業とのお取引のみならず、米国の大企業取引から個人取引、信託業務まで幅広い業務を行っています。平成20年12月には、全米での認知度を高めるために商号の変更を行いました(旧行名：ユニオン・バンク・オブ・カリフォルニア)。新しいロゴは、UBの頭文字であるとともに、英語で「you」(あなた=お客さま)を意味する「U」の文字を表しています。

UBでは、新しくなったロゴのもと、これまで以上に地域社会やお客さま一人ひとりに合ったサービスを提供していきます。

本邦初、電子記録債権*事業スタート

平成21年8月、三菱東京UFJ銀行は、子会社である本邦初の電子債権記録機関「日本電子債権機構」(JEMCO)とともに、電子記録債権を活用した日本で初めての金融サービスの提供を開始しました。

このサービスは、手形や振込に代わる新たな企業間決済手段の提供により、企業の支払事務の合理化や手形保管コストの削減などに貢献します。また、電子記録債権を受け取った企業は、債権を必要な金額だけ資金化・譲渡することも可能となるため、中小企業の資金調達の円滑化にも貢献します。

今後も、さらなる新商品・サービスの開発を通して、資金決済・資金調達ニーズの多様化・高度化にお応えしていきます。



「日本電子債権機構」のロゴ

*電子記録債権とは、電子債権記録機関が管理する記録原簿に支払額、債権者、支払期日などを電子データとして記録することで、債権の発生・譲渡などが行われる金銭債権

MUFGグループは、「地球環境問題への対応」と「次世代社会の担い手育成」に重点を置いて、社会貢献活動に取り組んでいます。その一例をご紹介します。

就業体験プログラム「ジョブシャドウ」を実施

平成21年7月、MUFGは、ジュニア・アチーブメント日本、東京都教育委員会と共同で、今年で3回目となる「ジョブシャドウ」を実施しました。「ジョブシャドウ」とは、世界最大の経済教育NPO団体「ジュニア・アチーブメント」が米国を中心に行っている中学生・高校生向けの教育プログラムです。子どもたちが、仕事をしている人と「影」のように一緒に行動し、仕事の楽しさや厳しさを体験するもので、今後の進路や将来の職業選択に役立てることを目的としています。



当日は、東京都教育委員会が公募した都立高校生106名が、三菱UFJフィナンシャル・グループ、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJ証券、三菱UFJニコス、三菱UFJリースの各本部に分かれ、従業員と一緒に会議に出席するなど仕事の現場を体験しました。

参加した生徒たちからは、「会社にはさまざまな仕事があることがわかった」「進路を考えるうえで大変勉強になった」などの感想が寄せられました。



環境教育プロジェクト「守ろう地球のたからもの」

MUFGグループと三菱UFJ環境財団は、社団法人日本ユネスコ協会連盟と共同で、自然環境や文化財を人類共通の“たからもの”として未来へ引き継いでいくための環境教育プロジェクト「守ろう地球のたからもの」に取り組んでいます。

この一環として、平成21年5月と6月には、世界自然遺産の白神山地周辺において、MUFGグループの役職員と子どもたちを含む地元の方々とで植樹活動を行いました。今後も本プロジェクトを一層推進していきます。



テレビ番組

「未来へのおくりもの」

MUFGグループは、平成21年5月からBS-TBSにおいてテレビ番組「未来へのおくりもの」を提供しています（毎週土曜日22：00～22：30）。

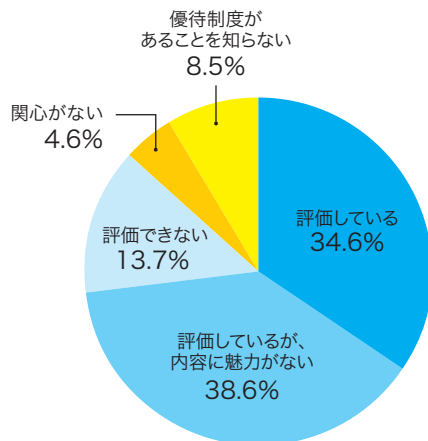
この番組では、本業を通じて社会的な課題の解決に取り組む企業や団体の努力や情熱を紹介しています。



株主アンケート結果のご報告

「株主の皆さまへ 第4期第3四半期」(平成21年3月発行)のアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケート結果をご報告します。

株主優待制度に対する評価



ご回答いただいた株主の皆さま/回答者数：37,433名(回答率7.4%)

皆さまから頂戴した主なご意見

■ 現在の優待制度、優待サービスに関して

- ・ 優待制度を今後も続けてほしい
- ・ オリジナルグッズを複数から選択できるようになったのは良かった
- ・ ピーターラビットのオリジナルグッズを続けてほしい
- ・ オリジナルグッズは楽しみなので届く時期を早くしてほしい
- ・ サービスの利用手続きを簡単にしてほしい

■ 今後ご希望される優待サービスに関して

- ・ 利用できるグループ会社のサービスを増やしてほしい
- ・ 経済セミナーへの招待などを加えてほしい
- ・ 生活により密着したグッズ、サービスにしてほしい

など

平成22年1月に提供を開始する次回の優待サービス内容に関しましては、皆さまからいただいたご意見も参考に、現在検討を進めています。決定しましたら、当社ホームページでご案内するほか、対象の株主さまには、12月中をめどに株主優待制度関係書類をお送りする予定です。

株式事務のご案内

株券電子化実施(平成21年1月)に伴い、株主さまのお手続き方法が変更になりました。
株券電子化実施までに証券会社等を通じて証券保管振替機構(ほふり)に預託されなかった株式は、当社が株主さま名義で開設した「特別口座」に記録されています。

株主さまのお手続き	取扱場所
<p>■ 「特別口座」に記録された株主さま</p> <p>特別口座に記録された株式に関する各種お手続き (特別口座から証券会社等の口座への口座振替申請、特別口座の株式の相続、特別口座の単元未満株式の買取請求・買増請求など)</p>	三菱UFJ信託銀行 証券代行部※ (特別口座の口座管理機関)
<p>■ 証券会社等の口座に株式をお持ちの株主さま</p> <p>住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金受取方法の指定その他各種お手続き</p>	口座を開設されている証券会社等 (口座管理機関)
<p>■ 全ての株主さま</p> <p>未受領の配当金のお支払い</p>	三菱UFJ信託銀行本支店 (株主名簿管理人)

※お問い合わせ先・
郵便物送付先

〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話：0120-232-7111(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

三菱UFJ信託銀行本支店でもお手続きできます。

特別口座の有無がご不明な場合は、上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

三菱UFJ信託銀行証券代行部のご利用に関するアンケートはがきを同封しています。大変お手数ではございますが、ご回答をご記入の上、ご返送くださいますようお願い申し上げます。

グループメッセージについて

MUFGグループは「Quality for You」を
グループメッセージとして、
お客さまとのさまざまな
コミュニケーションの場で展開していきます。

Quality for You

このメッセージには、
「『質』の高いサービスのご提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして、こうした活動を通じて
地域・社会の発展に貢献していきたい」
という私たちの想いを込めています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1
電話03(3240)8111(代表)
URL:<http://www.mufig.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
Tel:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)